

# The 106th regular meeting of Hokuriku branch of Japan Gastroenterological Endoscopy Society

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/44225">http://hdl.handle.net/2297/44225</a>

『学会開催報告』

第106回日本消化器内視鏡学会  
北陸支部例会

The 106th regular meeting of Hokuriku  
branch of Japan Gastroenterological  
Endoscopy Society

金沢大学医薬保健研究域医学系がん局所制御学  
(第二外科学)

伏田 幸夫

平成27年11月29日(日), 石川県地場産業振興センター新館において, 第106回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会を開催させていただきました。

学会中は曇天ではありましたが雨にたたられることなく天候にも恵まれ, 消化器内科の先生方もさることながら, 今回は主催が外科教室とあって内視鏡学会にもかかわらず, 消化器外科の先生方にも多数参加していただき, 290名の参加者でありました。

本学術集会は, 毎年2回開催されておりますが, 今回は一般演題の応募の出足が悪く大変心配いたしました。結局, 53題(うち, 初期研修医6題, 後期研修医25題)と過去最高の演題数となり, 各セッションをご担当頂きました座長ならびに演者の先生方に感謝と御礼を心より申し上げます。

パネルディスカッションでは「悪性腫瘍に対するLECS導入について-内科の立場・外科の立場から」をテーマに掲げ, 基調講演としてLECSの第一人者であるがん研有明病院胃外科の比企直樹先生に「腹腔鏡内視鏡合同胃局所切除, LECSの適応と限界」について講演いただきました。次いで, 4名のパネリストの先生方にご講演いただきました。管腔臓器を開放しておこなう術式であるため, 腫瘍細胞が腹腔内に散布しない工夫が必要であり, また, センチネルリンパ節生検との組み合わせにより早期胃がん(ESD適応外病変)の縮小手術への発展が期待されました。

ランチョンセミナーでは石川県立中央病院消化器内科の土山寿志先生に「抗血栓薬使用症例に対する内視鏡治療の現状」について講演いただきました。社会全体の高齢化に伴い, 抗血栓薬を使用している患者さんは増加傾向にあり, 抗血栓薬を休薬しなかったことによる消化管出血の危険性および抗血栓薬を休薬したことによる血栓塞栓症誘発の危険性の両面に留意する必要があります。今後の前向き試験の結果に注目が必要とのことでした。

教育講演として「若手消化器内視鏡医育成における教育システム」と題し, 石川県立中央病院消化器内科の竹村健一先生にご講演いただきました。上部消化管内視鏡

検査を始めるにあたって, ご自身の教わった側の経験を踏まえ指導者として注意すべき点を教えていただきました。また, e-ラーニングを取り入れることによって, より理解が深まることも教えていただきました。今回は時間の都合で下部消化管内視鏡検査についてはご講演いただけませんでしたが, 是非講演の機会を作っていただきたいものです。

最後になりますが, 本学術集会開催・運営に多大なご協力・ご協賛いただきました企業・団体各位ならびに金沢大学十全医学会, 金沢大学第二外科同門会の皆様方には金沢大学 消化器・腫瘍・再生外科のスタッフと共に, 心より熱くお礼申し上げます。

